

岩手から台湾へ！ 岩手と台湾の「特別な関係」

◇ みんなで行こう いわて花巻空港から台湾へ！

本県では、台湾との交流拡大に向け、花巻空港から台湾への国際定期チャーター便・定期便の誘致に取り組んでいます。平成 28 年春（5月～6月で調整中、週2便）にも定期チャーター便が運航されますので、ぜひ皆様も花巻空港から行く台湾の旅をお楽しみください！

なお、定期チャーター便を利用した旅行商品については、3月頃から県内取扱旅行代理店において販売される予定です。詳しくは、岩手県空港利用促進協議会（事務局：県庁空港課 ☎019-629-5914）までお気軽にお問い合わせください。



外国人観光客のうち台湾からの観光客が占める割合 全国 1 位！

平成 26 年に岩手県を訪れた、外国人観光客の延べ宿泊者数は 73,220 人、うち台湾は 45,560 人と、62%を占め、その割合は、都道府県比較で全国 1 位となっています。

◇ 岩手と台湾の古くからの「つながり」

岩手と台湾は古くから「つながり」があり、本県出身の後藤新平は、台湾総督府民政局長（民政長官）を務め、民政統治の確立に貢献しました。また、新渡戸稲造は、台湾総督府臨時糖務局長を務め、製糖業発展の基礎づくりに貢献しました。さらに、三田定則は、台北帝国大学医学部の初代学部長を務め、台湾医学の発展に貢献しました。

◇ 台湾からの多大な震災復興支援

台湾からは、物心両面にわたり、世界最大級の御支援をいただき、本県に対しては、多額の義援金のほか次のような支援が寄せられています。

- ・ 台湾観光局・台湾観光協会 被災者を2週間の台湾旅行に無料招待（被災三県で 1,000 名）
- ・ 台湾嘉義県 嘉義県議長らの招待により、岩泉町立小本中学校の生徒が嘉義県を訪問（ホームステイやスポーツ、文化交流）
- ・ 台湾赤十字組織 施設再建等への支援（日台きずな保育園（旧わかき保育園）、大沢保育園、吉里吉里保育園、みどり幼稚園、災害公営住宅、山田北小学校放課後児童クラブ、豊間根地区放課後児童クラブ）
- ・ 財団法人仏教慈済慈善事業基金会 被災世帯に対する見舞金支給、釜石市のスクールバス運行経費及び幼稚園・小中学校の給食経費支援、大船渡市及び陸前高田市へ毛布、衣類、食料品等の物資支援 ほか

◇ 「つながり」に感謝 東日本大震災津波・岩手県復興報告会

平成 27 年 11 月 10 日、台北市において、復興に向けて邁進する岩手県の姿を発信する、「～「つながり」に感謝～東日本大震災津波・岩手県復興報告会」を開催しました。



報告会には、台湾赤十字組織王清峰会長、民間レスキュー隊、行政機関の方々など約 200 名が来場され、達増知事が、復興支援に御尽力いただいた台湾の皆様へ、深い感謝の意をお伝えするとともに、復興の取り組みの報告を行いました。会場では、復興の状況や台湾との交流の様子を伝えるパネル展示、わんこそば、まめぶ汁、地酒など県産品でのお振る舞いも行いました。

また、馬英九総統、王金平立法院長等を訪問し、知事が復興支援に対する御礼を述べるとともに、今後の交流拡大について意見交換等を行いました。

いわて花巻空港からの平成 28 年春季台湾定期チャーター便の利用促進について

1 趣旨・経緯

- 本県では、平成 24 年度から台湾との国際チャーター便・定期便の誘致に取り組んでいます。
- 昨年 11 月に知事が訪台し、中華航空の孫会長との間で「平成 29 年の定期便化を目標として双方協力して取り組むこと」で合意し、**本年春と秋に定期チャーター便を運航**することとしています。
- 特に**今春（5 月～6 月で調整中）運航される定期チャーター便は定期便化への試金石、最終ステップ**となる重要なものであり、いわて花巻空港を台湾からの北東北の玄関口と位置付けて、隣県との連携による利用促進に積極的に取り組んでいくこととしています。
- なお、平成 28 年春季定期チャーター便の運航決定は今月下旬を見込んでいますが、**5 月～6 月、週 2 便で運航**することとして航空会社と調整中です。

2 ミッション団派遣、研修・視察の実施（お願い）

定期便化に向けては、台湾からの誘客に合わせて、日本側からの利用拡大が不可欠であり、定期チャーター便を活用した観光プロモーション、ミッション団派遣、研修・視察について、実施を検討いただき（別添資料 1 を参照）、**台湾と本県の地域間交流の拡大**に積極的に取り組まれるようお願いいたします。

3 運航概要（※現在航空会社と調整中です。確定次第公表します。）

- （1）運航期間：平成 28 年 5 月～6 月（調整中）
- （2）運航便数：**週 2 便**（旅行行程は、4 泊 5 日または 3 泊 4 日を想定。）
- （3）運航時間：未定（H27 春季の場合・・・花巻発 12：55→台北着 16：00、台北発 7：15→花巻着 11：40）
- （4）所要時間：往路約 4 時間、復路約 3 時間 30 分
- （5）運航機材：B737-800（158 人乗り）

4 定期チャーター利用旅行に対する助成制度（予定）

企業・団体等向け	・台湾の各種団体等との交流を目的とした旅行を行う団体・企業等に対する助成（5 人以上、5 千円／人） ・県北、沿岸地域等からいわて花巻空港までのバス借上げ費用の助成（県北、沿岸地域の場合は 5 万円／台、県外の場合は 10 万円／台） ・教育旅行等の事前視察にかかる経費に対する助成（5 万円／人）
個人向け	・パスポート取得（更新）費の助成（5 千円／人）

5 旅行商品の販売について（予定）

- （1）主催旅行会社：(株) JTB 東北、(株) エイチ・アイ・エス、(株) ツアーウェーブ
- （2）旅行商品の販売：平成 28 年 3 月中旬頃より、県内外取扱旅行代理店から旅行商品の販売が開始される予定です。なお、ミッション団派遣、企業・団体による視察・研修旅行については、事前の相談も受け付けておりますので、上記主催旅行会社または岩手県空港利用促進協議会までお問合せ下さい。

【問い合わせ先】岩手県空港利用促進協議会（事務局：県庁空港課 小田島 電話 019-629-5914）

◆台湾定期チャーター便を利用した台湾研修・視察等事例紹介◆

1 台湾定期チャーター便を利用した台湾研修・視察等事例

H26～27 の台湾定期チャーター便を利用して行われた行政等による台湾ミッション、県内企業・団体等による台湾視察・研修等の例は次のとおりです。

(1) 議会、行政等によるミッション派遣事例

- ・ 町議会議員団による観光プロモーション（台湾旅行業団体表敬訪問による観光PR、現地企業視察等）
- ・ 盛岡広域圏での観光ミッション、沿岸広域圏での経済・観光・復興御礼ミッション
- ・ ものづくり企業グループによる経済視察（台湾研究機関視察交流、現地企業工場視察）

(2) 企業研修の事例（台湾における同業他社視察）

- ・ 建設会社による社員研修（台湾における建築現場見学）、農機具メーカーによる社員研修（台湾における現地農業視察、農業機械事情視察）、農業協同組合による職員研修（台湾における野菜等営農現場視察）

(3) 各種団体の現地友好交流の事例

- ・ ロータリークラブの現地交流（現地ロータリークラブとの友好交流。復興支援に対する御礼）
- ・ JC（青年会議所）による現地JCとの相互交流

(4) その他（経済視察等）

- ・ 県商工団体（青年部）による台湾視察（台湾ビジネス講演会参加、現地大学関係者との交流会等）

2 研修・視察先について

企業・団体等に関連する視察コースは以下のようなものが考えられます。

主催旅行会社は現地台湾に自社の営業拠点をもっており、県内企業や団体のお客様の希望や業種業態に応じた視察先のアレンジが可能です。また、県の現地コーディネーターもおりますので、視察先に関する情報提供が可能ですので遠慮なくご相談ください。

- ア 工業関係…各種経済団体・業界団体、半導体関連産業など製造業の先進企業 等
- イ 食品・物産関係…各種経済団体・業界団体、公設市場、百貨店、飲食店 等
- ウ 農業関係…農業現場（大規模生産者団体等）、公設市場、大型スーパー 等
- エ 建設関係…烏山頭ダム（日本人技師八田与一建設）、台北 101、高速鉄道新駅、大規模橋梁 等
- オ 医療関係…台湾大学医学人文博物館（三田定則関連展示）、台湾大学附属病院 等
- カ 教育関係…各種学校（高等学校、大学）との交流、各種体験学習（文化、農業等） 等
- キ 岩手県ゆかり…国立台湾博物館（後藤新平関連展示）、糖業博物館（新渡戸稲造関連展示） 等

3 台湾で開催予定の主な展示会等（2016 年 5～6 月）

(1) 県等がブース出展を予定しているもの

- ア 台北国際観光博覧会（T T E） 2016. 5. 20～23 [台北市]
- イ 台北国際食品見本市（フード台北） 2016. 6. 22～25 [台北市]

※ イベントへの参加、ブース出展については、別途県関係課から関係団体等に照会する予定です。

(2) その他

- ア 台中国際旅行博覧会（A T T A） 2016. 5（時期未定）[台中市]
- イ 高雄国際旅展（K T F） 2016. 5（時期未定）[高雄市]
- ウ 台北国際コンピュータ見本市 2016. 5. 31～6. 4 [台北市]
- エ 台湾国際医療産業見本市 2016. 6. 16～19 [台北市]

1 台湾との定期チャーター便の実績について（*上段：合計利用者数／販売座席数、下段：【平均利用率】）

運航時期	2014年春季 (2014. 4. 17～6. 19)	2014年秋季 (2014. 10. 11～12. 2)	2015年春季 (2015. 5. 12～6. 26)
運航本数 (曜日)	19往復38便 (木・日運航)	16往復32便 (火・土運航)	14往復28便 (火・金運航)
全体合計	4,697人／5,688席 【82.6%】	4,092人／4,506席 【90.8%】	3,248人／3,952席 【82.2%】
インバウンド	2,385人／2,988席 【79.8%】	2,169人／2,346席 【92.5%】	1,870人／1,976席 【94.6%】
アウトバウンド	2,312人／2,700席 【85.6%】	1,923人／2,160席 【89.0%】	1,378人／1,976席 【69.7%】

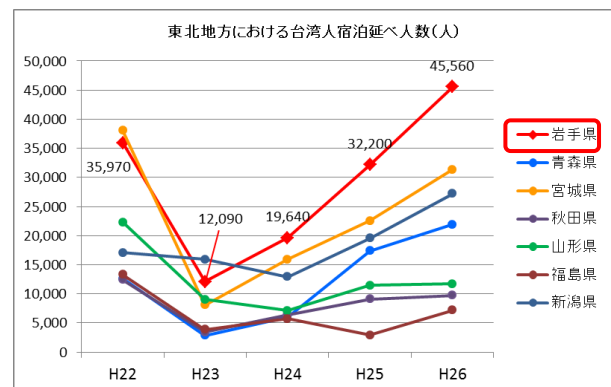
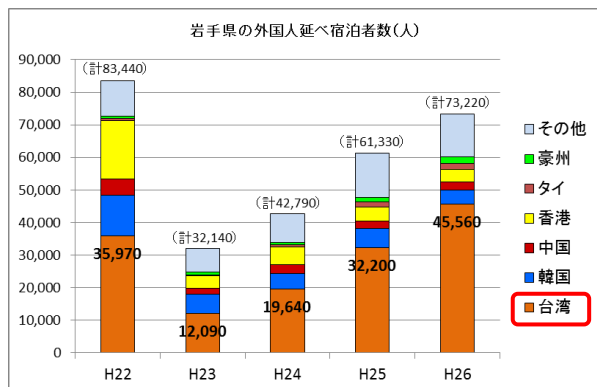
2 台湾と岩手県とのつながりについて

(1) 歴史的なつながり（日本統治時代）

- ・後藤新平（奥州市出身）…台湾総督府民政長官として、台湾の基盤整備（道路、下水道等）を推進。
- ・新渡戸稲造（盛岡市出身）…台湾総督府臨時糖務局長として、台湾の製糖業の振興に貢献。
- ・三田定則（盛岡市出身）…台北帝国大学医学部初代学部長、総長を歴任。台湾医学の基礎づくりと発展に貢献。岩手医科大学初代学長。

(2) 現在のつながり

- ・東日本大震災津波の際には、台湾から多大な支援。（総額 200 億円以上）
- ・海外からの岩手県への観光客では台湾が最も多く、また、台湾からの宿泊客数が東北地方の中で最も多いのも岩手県となっている。（台湾からは震災以降V字回復し、震災前を上回る水準に。）



3 国際定期便就航による効果

いわて花巻空港から台湾への国際定期便就航が実現すれば、地元の空港から世界へダイレクトに繋がること（台湾のみならず台湾乗継により世界 29 カ国・地域、120 都市）となり、県民の利便性が飛躍的に向上する。岩手から海外への往来が容易となり、経済・文化等の国際交流の促進、外国人観光客の年間を通じた誘客促進、県内企業の海外企業との取引機会の拡大など、本県への多大な経済効果が期待される。

〔参考：台湾定期便の経済波及効果試算（H26.9 一般財団法人岩手経済研究所）〕

一財）岩手経済研究所が、いわて花巻空港と台湾との国際定期便が就航した場合の旅行支出に伴う県内への経済波及効果について試算を行ったもの。【週 2 便、利用率 80%、インバウンド 6 割・アウトバウンド 4 割の場合】

経済波及効果（年間）：3 億 7,300 万円（1 往復当り約 360 万円）

（単位：百万円）

一次波及効果			二次波及効果	経済波及効果
直接効果	間接効果			
3 1 2	2 3 5	7 7	6 2	3 7 3

（端数処理のため合計が一致せず）

（平成 21 年岩手県産業連関表を使用し、県内での旅行支出額から、一次波及効果（直接効果、間接効果）及び二次波及効果を試算し、その合計を経済波及効果としたもの。）